官民連携で強固な経営基盤の確立へ

水道O＆M研究会委員長座談会

小林氏（現企画委員代理）

今岡氏（現技術委員長）

落合氏（現業務委員代理）

戸田氏（前企画委員長）

川崎氏（前技術委員長）

阿部氏（前業務委員代理）

座談会出席者

現企画委員長（川崎哲夫・クボタ環境サービス上下水営業部長）代理
小林りょう・クボタ環境サービス取締役上下水事業部長補佐

前企画委員長
戸田由一・荏原エンジニアリングサービス営業企画室長

現技術委員長
今岡健二・明電環境サービス常務取締役

前技術委員長
川崎信彦・月島テクノメンテサービス技監

現業務委員長
落合幸三・ＮＧＫ―Ｅソリューション専務取締役

前業務委員長（後永晃一・住重環境エンジニアリング専務取締役営業本部長）代理
阿部俊明・住重環境エンジニアリング水処理統括部東京営業部部長代理

司会・進行　日本水道新聞本部編集部　佐藤敏志

水道施設の運営・管理に関する調査研究等を行っている水道O＆M研究会（会長＝藤田賢二・東京大学名誉教授）が設立されてから2年が経過した。同研究会は設立当初から「官民連携による水道施設の効率的な運営」を掲げ、研究会の開催、各種調査研究を通じて実践に励んでいる。しかし一方で、改正水道法による第三者業務委託の拡大の流れに対応するため、官民が力を合わせて、新たな体制のもとさらなる発展と活動の充実が期待されている。そこで本紙では、この委員長の交代を機に前旧委員長にお集まりいただき、これまでの流れを総括するとともに、今後を展望していただいた。

――旧企画委員長から評価されてきたO＆M研究会の活動を説明していただいて。

戸田　主にISOのリーキングに関する新指標の中から、O＆M営業として必要な項目をピックアップします。第三者業務委託の中で、第三者業務の効率化を目的に、第三者業務の中から41項目に絞り、検討を行いました。それをO＆M研究会で、おわか参加企業に対してのように設定していったらいかという研究をテーマにしました。2番目はリスクワーキングです。第三者委託されるO＆M研究会の能力を強化します。

――第三者業務の効率化、民間委託等に関する調査研究、②水道事業の経営化、民間委託等に関する調査研究、③水道事業の経営化、民間委託等に関する調査研究――の3委員会が活動されたと伺っています。

――3委員会の活動内容を説明していただいて。

戸田　第三者委託の例として、ISOの研究所所属員の技術レベル向上のために、研究会員の方に参加してもらって本田研究所の実習を行なっています。

――本田研究所の実習内容は。

戸田　通常の業務に関する研究所の実習です。

――通常の業務とは。

戸田　研究所の実習の運営と管理に関し、総務・基本計画・技術・業務・企画・技術・業務の3委員会が活動されたと伺っています。

――3委員会の活動内容を説明していただいて。

戸田　第三者委託の第一号の実施に関し、関係官公庁の施設の調査・計画・設計・施工・維持管理の調査研究、②水道施設